

大鷹千秋町長は
日高町議会3月会議に
おいて
町政執行方針を述べ
行政運営に対する
決意を表明しました。



町長 大鷹 千秋

まちづくりの 基本姿勢

令和3年日高町議会3月会議の開会にあたり、私の所信を申し述べさせていただきます。町民の皆様をはじめ議員各位の御理解と御協力をいただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が日本で初めて感染確認されたから1年以上が経過しましたが、依然終息する兆しが見えず、本年も難しい年となることが予想されます。そのような中においては、新たな生活様式や感染対策などを考慮した施策展開を行う必要があります。

また、全国的な人口減少と少子高齢化、さらに新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言により小規模自治体においては、地域の担い手不足や町税の減少、社会保障経費の増加など、今後の地域経済や健全な財政運営にも影響することも想定されます。

こうした状況ではあります。第2次日高町総合振興計画の目指す「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」の実現のため、子育て世代をはじめ高齢者や障がい者などへの福祉の充実、農林水産業や観光など様々な施策に取り組んでまいります。

また、本年は、昨年延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、日高町はウズベキスタン共和国のホストタウンに登録され、大会終了後には近代五種競技の選手と関係者をお招きし、世界の一流選手とのスポーツ交流や海外の文化、芸術を通じた交流を町民の皆さんと行えることを楽しみにしております。1日も早くコロナ禍が沈静化し、無事大会が開催されることを願うところであります。

次に町政を推進するための主な政策について、申し上げます。

地域産業の振興

◎農業の振興

農業につきましては、それぞれの生産者が新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながらの生産活動を強いられている中、その対策を講じて、なお安定的な収益を維持するためには、状況に即した柔軟な取り組みを適時に実施していく必要があります。

耕種・畜産では、経営効率化と生産規模拡大などが期待される農業法人の設立及び新規参入に対する支援の拡充を図ってまいります。

農業従事者の高齢化や後継者不足への対策につきましては、東京・札幌などで開催される新規就農者募集イベントへのリモート参加や青年農業者の婚活イベントをオンラインで実施するなど、実行可能な手法で担い手人材の発掘に努め、国の補助制度等の活用とともに関係機関との更なる連携強化により農業従事者の確保・育成に努めてまいります。

◎有害鳥獣対策

有害鳥獣対策につきましては、北海道及び日高管内各町と連携したエゾシカ・アライグマ等の有害鳥獣駆除の実施に努め、農林業被害の減少に必要な措置を継続してまいります。

◎軽種馬生産

軽種馬生産につきましては、オール日高の取り組みとして「強い馬づくりと軽種馬経営の持続的発展に資する馬産地活性化」の要望活動を国など関係各方面に対して行っているところですが、この中心となる馬生産振興事業の拡充のほか、担い手・労働力の確保についても引き続き取り組んでまいります。

◎ホツカイドウ競馬

ホツカイドウ競馬につきましては、令和2年度の開催においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、最終日前3日間を除き無観客開催となりましたが、インターネット発売の

増加により発売額は前年比157.3%で10年連続で前年度を上回り、ホツカイドウ競馬史上最高額を記録し、8年連続の黒字決算見込みとなるなど好調を維持しています。

さらに令和3年度からは、第3期北海道競馬推進プランにより、懸案であった厩舎等の施設整備がスタートします。町としてこれらの事業に積極的に協力し、日高管内の基幹産業である軽種馬産業を支える産地競馬としての体制のさらなる強化に努めてまいります。

◎林業の振興

林業につきましては、「日高町森林整備計画」に基づき森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されるよう、町有林においては、間伐などの保育事業を計画的に実施し、継続的な町有林の適正管理・森林機能の維持保全に努めてまいります。また、民有林については、森林環境譲与税を活用

した未整備森林所有者への意向調査の結果を踏まえ、新たな森林整備推進事業を実施するとともに、人材育成、木材利用の推進や普及啓発事業の検討を行い、適切な森林施業の推進と管理に努めてまいります。

◎水産業の振興

水産業につきましては、主要魚種であるさけ・ますの記録的な不漁、コロナ禍での外食需要の減少など漁業を取り巻く環境は大変厳しい状況ではありますが、ひだか漁業協同組合をはじめとした関係機関と連携し、安定した水産資源供給と漁業の健全な発展に資するため、水産資源の増殖事業と漁業活動への支援を継続してまいります。

また、ひだか漁業協同組合が事業主体となり、令和元年度着工しました「静内対空射撃場周辺漁業用施設設置助成事業」水産物加工施設が令和3年12月に完成を迎えることから、円滑な事業開始に向けて引き続き

施設整備などに必要な支援を行ってまいります。

◎商工業の振興

商工業につきましては、日高町中小企業・小規模企業振興条例を基本に、地域経済の発展に重要な役割を果たしている小規模企業の振興を図るため、新たな経営資金支援事業を創設し、制度の効果的な運用に努めてまいります。

また、商工会と連携しながら町内消費の拡大を図る取り組みとして、町内外の方々に飲食店などの利用を促す仕組みや新たなイベントの実施を検討してまいります。

◎観光産業の振興

観光振興につきましては、町内の魅力ある観光資源を再認識してブランド化を進めていくため、地域の観光資源を掘り起こす取り組みを引き続き行っていくとともに、前例にとらわれず、地域を取り巻く状況に対応した事業の実施と観光

情報の発信に努めてまいります。

また、むかわ町・平取町と連携し、一つのエリアとして広域的な観光振興に取り組んでいる「鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会」事業は、地域の現状や課題、観光客のニーズを把握し、広域での観光行政の方向性を見いだす重要な取り組みであり、今後も積極的に取り組んでまいります。

生活環境の整備

◎地域公共交通

JR日高線は、平成27年1月以降相次ぐ台風被害等により運休し、バスによる列車代行輸送が行われてきました。この間、運行再開に向けた協議や新たな地域の広域公共交通となるバス運行体系の構築に向け、日高管内各町と関係団体において協議・検討を続けてまいりましたが、本年4月1日をもって正式にJR日高線鶴川・様似間が廃止され、これに代わる新たな日高地